

令和2年11月11日

市政記者各位

福岡市美術館

コレクション展示室（古美術） 冬季展示がスタートします

福岡市美術館コレクション展示室（古美術）の冬季展示といたしまして、目で視ることのできない風を表現した作品を紹介する「風を視る」、世界中で人気を博したインド更紗が変遷する500年の歴史をたどる「インド更紗からアフリカン・プリントへ」、松永コレクションの仏教美術を紹介する「茶道具としての仏教美術」の3つの展覧会が新たにスタートします。

広報にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

コレクション展（古美術企画展示室）

風を視る

古来、人々は風に聖性をみだし、様々な形で視覚化してきました。本展では、目で視ることのできない風を作品の中でいかに表現し、またどのような思いを込めたのかを探ります。



《風神像》鎌倉時代 14世紀

インド更紗からアフリカン・プリントへ

鮮やかな色彩と色もちのよさで、世界中で人気を博したインド更紗。インドネシアやヨーロッパでも制作されるようになり、その遺伝子はアフリカン・プリントに継承されています。更紗が変遷する500年の歴史をたどります。



西澤株式会社（デザイン）、三陽染工株式会社（製造）
《植物文様スーパーワックスプリントハンガー見本》1993年

コレクション展（松永記念館室）

茶道具としての仏教美術

茶道具の中には、本来、茶の湯とは別の目的で制作されたものが少なくありませんが、仏教美術はその代表ともいえます。本展では、松永コレクションの仏教美術を紹介し、茶の湯でいかに用いられたのかを考えます。



《経筒》平安時代 元永元年

共通

会期	令和2年11月17日（火）～令和3年1月31日（日）
開館時間	午前9時30分～午後5時30分（入館は閉館の30分前まで）
休館日	毎週月曜日、年末年始（12月28日～1月4日） ※月曜日が祝日・振替休日の場合は、その後の最初の平日
観覧料	一般200円、高大生150円、中学生以下無料

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しています。

※来館時にはマスクの着用、手指の消毒等にご協力ください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館運営部 学芸課（後藤、宮田、岩永）

問合せ：092-714-6051